



歩道の設置などの整備が検討されることになった駅前の町道



木下志き子議員

環境整備

JR山田駅前の美化・整備を

必要性は感じており検討したい

質問

① JR山田駅前周辺の美化と併せ、町の顔としての駅周辺の整備をどのように考えているか。

② 下水道工事の進捗状況はどうなっているか。

沼崎町長

① 山田駅前の交通状況などについては、児童生徒などの通行の安全、災害時の避難通路として、道路の拡幅あるいは歩道の整備の必要性は、十分感じている。整備をするとなると、関係地権者の理解と協力を得なければならぬ。どのような整備の仕方がよいのか検討してみたいと考えている。

② 山田地区の下水道整備の全体面積は、219・6haである。現在、県の認可を受けている第1期整備区域は、75・6haで、事業費は、管渠整備が約29億円、処理場建設費が約17億円の計46億円である。

町の考えを聞く

進捗状況は、事業費ベースで、平成18年度末で11・7%となっており、平成27年度の供用開始を

目指している。平成19年度は、中央町、川向町、八幡町地区の管渠整備を実施する。

疾病対策

麻しんなどの集団感染対策

予防接種などの啓発を行う

質問

マスコミなどで、麻しん・百日せき・インフルエンザの集団感染が報道されている。町としてどのような対策を考えているか。

沼崎町長 麻しん・百日せき・インフルエンザは、

ウィルス性の感染症であり、広範な対策が必要である。町では、さまざま感染症を予防するため、就学前の児童などを対象に個別および集団による予防接種を行っている。

厚生労働省から「麻しん

の流行について（注意喚起）の通知を受け、町内の保育所、児童館、放課後児童クラブなどに対し、「麻しん患者発生時の対応マニュアル」に基づく対応を周知した。麻しん・百日せき・インフルエンザは、咳や高熱を伴う合併症として、肺炎や脳症などが懸念されることから、予防接種の勧奨などの啓発を行い、万が一、発生者がたときは、嘱託医や関係機関と連携し感染拡大の防止に努める。